

1 令和8年度 主要な事業

文化財は、郷土の先人たちが営々として築き上げ、また守り育ててきた貴重な文化遺産である。私たちは身近な郷土の文化財を通して、先人たちの優れた生きざまを学びとり、あるいは環境の巧みな利用法に接して、私たちの生活文化をより豊かなものにすることができる。その保存と活用は、先人への敬愛の念と自然への畏敬の態度を養う原点でもあり、そして子孫への継承は、私たちの負うべき責務の一つでもある。

本市では、文化財保護法の主旨に則り、文化財の保存と活用を図るために調査・指定・登録・管理・公開等の事業を推進しながら「文化財を活かした」都市づくりを展開している。

(1) 埋蔵文化財発掘調査

宅地造成事業など公共・民間の各種開発等に伴う事前審査や発掘調査を実施し、遺跡の確認、記録保存、現状保存等の措置を講じている。

埋蔵文化財にかかる令和8年度の調査計画は次の表のとおりである。

	遺跡名・次数	時代
1	賀来中学校遺跡第8次	弥生～古墳
2	細遺跡第4次	平安～鎌倉
3	府内城城下町跡第39次	江戸
4	府内城城下町跡第40次	江戸
5	大友氏館跡第54次	戦国
6	中世大友府内町跡第165次	戦国

(2) 文化財保存整備事業

① 史跡大友氏遺跡保存整備事業

事業者 大分市

史跡大友氏遺跡整備基本計画（第1期）令和元年度改訂版に基づき、短期整備として令和2年3月に「大友氏館跡庭園」の整備を終え、6月5日より一般公開を行っている。現在、中期整備として歴史公園予定地の整備及び公有化を行っている。

令和8年度の予定

- ・大友氏遺跡歴史公園整備実施設計（東側造成）
- ・上原館跡保全業務（擁壁工事）
- ・大友氏遺跡（上原館跡）公有化
- ・都市計画公園区域（利便施設用地B）公有化



大友氏館跡の現況

② 国指定史跡大分元町石仏保存整備事業

事業者 大分市

大分元町石仏覆屋改修後の環境モニタリング及び凝灰岩試験体を設置しての塩類析出試験を行う。元町石仏保存整備委員会では、これらデータを基にした保存環境及び脱塩手法についての評価を行う。

文化財

③ 重要文化財作原八幡宮申殿ほか6棟保存修理事業

事業者 作原八幡宮

作原八幡宮申殿、拝殿、楼門、西回廊、東回廊、西門、南大門の保存修理を行う。

令和8年度の予定

建物の詳細調査を行い、修理計画を立案する。

④ 県指定史跡「曲石仏付双塔(五輪塔)・磨崖連碑」保存整備事業

事業者 大分市

凝灰岩の劣化により崩落の危険性がある曲石仏の保存修理を行う。

令和8年度は、石仏保存修理に向けての課題を検討する委員会を開催し、中央石窟の入口西壁及び天井部の保存修理工事を実施する。併せて、西側小石窟の保存修理工事実施設計を行う。

⑤ 県指定史跡「毛利空桑旧宅」保存修理事業

事業者 大分市

令和4年1月に被災した西壁の仕上げ工事を行う。令和8年度は、外壁の漆喰塗りをはじめ、内部破損箇所等の左官工事を実施する。

⑥ 県指定有形文化財「早吸日女神社社家(小野家住宅)」保存修理事業

事業者 早吸日女神社

経年による屋根瓦の劣化や床の傾きの保存修理を行う。令和8年度は、屋根工事を実施する。

⑦ 県指定有形文化財「教尊寺書院・御殿」保存修理事業

事業者 教尊寺

経年劣化による書院・御殿の屋根と基礎部分の保存修理を行う。令和8年度は、工事の実施設計を行う。

⑧ 県指定有形文化財「絹本著色涅槃図」保存修理事業

事業者 金剛宝戒寺

経年劣化による掛幅装の保存修理を行う。令和8年度は、クリーニングを実施する。

⑨ 府内城跡基礎調査事業

事業者 大分市

府内城跡の史跡整備や保全に資する基礎情報を得るため、「府内藩記録」や「岡本家文書」などの文献調査を行い、府内城に関連する記事を翻刻し、報告書の刊行を進める。

令和8年度の予定

「岡本家文書」内の府内城に関連する記事を調査、選定し、翻刻作業を行う。その後報告書の解説を執筆、校正作業を行い、報告書(五)を作成する。

⑩ 文化財保存活用地域計画策定事業

事業者 大分市

文化財保存活用地域計画は文化財保護法で規定される法定計画である。本市計画は、「おいいたの多様な歴史と文化を『知り』、『守り』、『伝え』、郷土を愛する心と地域の一体感を育む」を基本理念として、文化財の保存と活用のための方針や取組を記すことを目的とする。

令和8年度の予定

大分市文化財保存活用地域計画策定協議会を開催し、パブリックコメントを募ったうえで、地域計画を完成させ、文化庁に提出する。

(3) 文化財災害復旧事業

① 県指定史跡「府内城跡」西側土塀災害復旧事業

令和5年6月30日からの梅雨前線豪雨により被災した土塀の保存修理工事の報告書を刊行する。

(4) 各種委員会の開催

① 大分市文化財保護審議会

大分市文化財保護審議会条例により設置。文化財の指定、保存及び活用に関する重要事項について調査、審議することを目的とする。

令和8年8月 令和9年2月頃 年2回開催予定

文化財

② 高崎山管理委員会

国指定天然記念物「高崎山のサル生息地」の適切な保全、その他の高崎山の適切な保存管理について検討することを目的とする。

第1回 令和8年7月 開催

第2回 令和9年2月頃 開催予定

③ 大分元町石仏保存整備委員会

大分元町石仏の塩類風化への対策と手法の検討を行う。

令和9年1月頃 開催予定

④ 曲石仏保存整備委員会

曲石仏の保存修理の方針及びその方法並びに保存に関する整備方針等についての検討を行う。

第1回 令和8年 8月頃 開催予定

第2回 令和8年12月頃 開催予定

⑤ 史跡大友氏遺跡整備検討委員会

国指定史跡である大友氏遺跡を大友氏遺跡歴史公園として適切に整備し、効果的な活用方法を検討する。

令和9年1月頃 開催予定

⑥ 大友氏館跡建造物等復元整備検討委員会

大友氏館跡において発掘調査で確認された建造物等の復元内容について検討する。

第1回 令和8年 8月 開催予定

第2回 令和8年 10月頃 開催予定

第3回 令和9年 1月頃 開催予定

⑦ おおいた地域伝統文化応援事業選考委員会

大分市内に守り伝えられてきた伝統文化の継承・再興及び発展を通じ、世代間の交流の増進や地域の活性化を図ることを目的とする。

令和8年5月28日開催

⑧ 大分市文化財保存活用地域計画策定協議会

文化財保護法第183条の3第1項に規定する文化財保存活用地域計画の作成に関し協議することを目的とする。

第1回 令和8年7月 開催

第2回 令和8年10月頃 開催予定

第3回 令和9年2月頃 開催予定

(5) 普及・愛護の啓発活動

① 大友氏遺跡情報発信事業

ア FUNA I ジュニア検定

郷土に対する理解と愛着を深めるため、小中学生を対象に歴史検定を実施し、合格者は表彰する。また、合格者のうち希望者上位5名程度を大友氏遺跡等のジュニアガイドとして養成する。

イ 大友宗麟副読本

市内の小学6年生の授業及びFUNA I ジュニア検定に活用する。

併せて、副読本をさらに詳しく説明した冊子「大友宗麟と府内のまち」を作成し、より詳しく学んでもらう。

ウ 南蛮BVNGO交流館

大友氏遺跡の案内や最新情報の発信を行うため、平成30年9月30日に開館した。大友氏遺跡や大友宗麟の功績について、展示や映像等により紹介するとともに、大友氏遺跡を中心とした歴史・文化の情報発信拠点として、効果的な活用を図る。

エ 歴史教育研修

小中学校教職員対象に大友氏遺跡及び南蛮BVNGO交流館にて現地学習を行う。また、大友宗麟副読本を活用した研修を行う。

② DXによる地域文化資源の継承及び活用事業

市内に所在する有形無形の文化財・史跡・伝統芸能・貴重図書・まちなみ・景観などの文化資源をデジタル化し、デジタルアーカイブとしてweb上で保存・公開することにより、文化資源の次世代への継承と、観光・教育・産業などの分野への活用推進を図る。令和5年6月1日より「大分市デジタルアーカイブ～おおいたの記

文化財

憶～」の一般公開を開始した。

- ③ FUNA I 文化遺産整備基金事業
- 府内地域の文化遺産の保存と整備、歴史を活かしたまちづくりの実現のために基金を創設し、事業周知及び機
運醸成を図り、文化遺産の整備を推進する。
- 令和4年5月より寄附金募集開始
- ④ 文化財防火デー
- 昭和24年1月26日に法隆寺金堂壁画が焼損したため、この日を文化財防火デーと定め、文化財防火訓練を展
開し、文化財愛護思想の高揚を図る。
- 実施予定日 令和9年1月下旬頃

2 令和7年度指定・登録文化財

史指定無形民俗文化財「柞原太鼓」保存団体の名称変更「八幡太鼓保存会連合」
決定日 令和8年3月28日
市登録史跡「馬場古墳」
登録日 令和8年3月28日

3 収蔵・公開施設

施設名	毛利空桑遺品館	所在地	〒870-0101 大分市鶴崎 381 番地の 1
	電話	097-521-4893	
	休館日	毎週月曜日（月曜日が祝日の場合翌日） ただし毎月第 1 月曜日は開館し翌日休館 年末年始（12/28～1/4）	
	概要	鶴崎在住の肥後藩士。儒者、教育家として家塾知来館・郷校成美館などで子弟を教育し、また勤皇家としても活動した毛利空桑の偉業をしのぶため、彼の遺品を収蔵、展示したものである。居宅天勝堂と知来館に隣接する。昭和 60 年改築。	
		令和 7 年度入館者数	
		大 人	3,267 人
		小 人	154 人
		合 計	3,421 人

文化財

施設名	池見家住宅	所在地	〒870-0315 大分市大字佐野 佐野植物公園内					
	電話	なし(問合せは文化財課へ)						
	休館日	毎週月曜日(月曜日が祝日の場合翌日) 年末年始(12/28～1/3)						
	概要	江戸時代、原村・久土村を統轄する臼杵藩丹生原組の庄屋を勤めた池見家の邸宅で、市内では最古の民家として歴史的な価値を持つものであり、また、普通の民家とは違って庄屋住宅としての構造をよく伝えた建物で、建築史の上からも注目される。 平成3年佐野植物公園内に移築復元。 令和7年度入館者数 <table><tr><td>大 人</td><td>1,336 人</td></tr><tr><td>小 人</td><td>343 人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>1,679 人</td></tr></table>		大 人	1,336 人	小 人	343 人	合 計
大 人	1,336 人							
小 人	343 人							
合 計	1,679 人							

施設名	海部古墳資料館	所在地	〒870-0303 大分市大字里 646 番地の 1								
	電話	097-524-2300	F A X	097-524-2301							
	休館日	毎週月曜日(月曜日が祝日の場合翌日) ただし毎月第 1 月曜日は開館し翌日休館 年末年始(12/28～1/4)									
	概要	国指定史跡「亀塚古墳」のガイダンス施設として広く古墳文化を案内する施設。展示室には、実物資料や複製品のほか、大型ジオラマ、市内の古墳復元模型を展示し、楽しみながら学べる資料館です。 平成 12 年 4 月開館。 令和 7 年度入館者数 <table><tr><td>団 体</td><td>2, 228 人</td></tr><tr><td>個 人</td><td>18, 466 人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>20, 694 人</td></tr></table>					団 体	2, 228 人	個 人	18, 466 人	合 計
団 体	2, 228 人										
個 人	18, 466 人										
合 計	20, 694 人										

文化財

施設名	南蛮BVNGO交流館	所在地	〒870-0025 大分市顕徳町3丁目2番45号								
	電話	097-578-9191	FAX	097-578-9191							
	休館日	毎週月曜日(月曜日が祝日の場合翌日) ただし毎月第1月曜日は開館し翌日休館 祝日の翌日(土・日曜日の場合開館) 年末年始(12/28～1/4)									
	概要	国指定史跡「大友氏遺跡」の案内や最新情報の発信を効果的に行うため、大友氏館跡内に設置した仮ガイダンス施設。4つのゾーンがあり、工夫を凝らした展示や迫力ある映像等により大友氏遺跡や大友宗麟の功績について紹介するとともに、戦国時代の茶室をイメージした立体展示や当時をイメージした衣装体験が行える。 平成30年10月開館 令和7年度入館者数 <table><tr><td>大人</td><td>12,096人</td></tr><tr><td>小人</td><td>5,019人</td></tr><tr><td>合計</td><td>17,115人</td></tr></table>					大人	12,096人	小人	5,019人	合計
大人	12,096人										
小人	5,019人										
合計	17,115人										

施設名	帆足本家酒造蔵	所在地	〒879-7761 大分市大字中戸次 4381 番地の 1			
	電話	097-597-4649	F A X	097-597-4649		
	休館日	毎週月曜日(月曜日が祝日の場合翌日) 年末年始(12/28～1/4)				
	概要	江戸時代に日向街道沿いの「在町」として栄えた戸次本町の中心に位置しており、江戸時代の酒造工程を今に伝える蔵やその中に酒造用具が展示されている。(大分市指定文化財)				
		令和 7 年度入館者数				
		団 体	2, 335 人			
		個 人	296 人			
		合 計	2, 631 人			

4 大分市歴史資料館



大分市大字国分 960 番地の 1

電話 549-0880

FAX 549-5766

(1) 運営方針

市内を中心とした考古、歴史、民俗の各分野にわたる資料を公開展示するとともに、企画展示、テーマ展示、各種の講座・講演会などを通して、広く市民が郷土の歴史を学ぶ場をめざしている。また、学校と連携して各教育課程に適応した歴史学習や体験活動のプログラムを充実させ、職員が学校に出向いて体験活動の指導を行う「出張歴史教室」を推進する。

更に、大友氏関係及び同時代の歴史資料の調査研究と収集を進め、郷土資料の保存・公開をはかり、大分の歴史に関する情報を積極的に発信する。

(2) 施設の概要

昭和62年4月 開館

敷地面積 4830.00 m² 建築面積 1889.60 m²

延床面積 2576.92 m² 展示室面積 690.75 m²

(3) 展 示

原始から近世までの通史的展示と民俗資料の常設展示をしている。各種の模型やイラスト、年表などを多用し、平易で立体的な展示を行っている。また、テーマ展示室を設け、テーマ毎に順次館蔵品等を公開している。

① 1階ホール

豊後国分寺七重塔復元模型（1/10）、市内の石仏案内

② 常設展示室

第1展示室 大分のあけぼの、大分の君と古墳の時代、国分寺と律令の時代

第2展示室 大友宗麟と中世、近世の府内

民俗展示室 明治から昭和にかけての食卓風景を中心に、その時代に使われた生活道具をオープン展示

③ テーマ展示室

常設展示以外の館蔵資料を中心に年3回テーマに沿って展示

④ 子ども歴史学習コーナー

子どもたちの調べ学習に利用できる歴史本を設置

⑤ 豊後国分寺跡の散策

七重塔跡・金堂跡の礎石や、整備された講堂・食堂・回廊・中門跡をめぐり、奈良時代を追体験しながらの散策が楽しめる。

(4) 企 画 展（令和8年度）

テーマ展示（令和8年度）

第1回「おおいたの学校―藩校、寺子屋から、近代学校の誕生―」

会期 3月7日（土）～5月24日（日）

内容 藩校や寺子屋など身分等により学びの場や内容に違いのあった江戸時代から、明治時代になり急激な近代化とともに新しい学校教育が形作られ、人々に受容されていくまでの変遷を紹介する。



展示風景



明治時代の旧荷揚町小学校の学校日誌と同小学校跡で出土した石板

夏季展示「大分―戦争の記憶―」

会期 令和7年7月18日(土)～9月27日(月)

内容 大分の人々が体験した戦争の時代について、当館所蔵の資料や出征兵士の手記などを交え、その記憶をたどる。

特集展 文化財保存活用地域計画作成連携企画「おおいたらしさ―歴史の記憶―」

会期 令和7年10月17日(土)～12月13日(日)

内容 長い時間と風土、人の営みによってつちかわれてきた「おおいたらしさ」を当館所蔵資料を中心に紹介する。

第2回「いさかいに、あいなりそうろう―諸領入り交じりのち事件簿―」

会期 令和9年3月6日(土)～5月23日(日)

内容 江戸時代、府内藩及び諸藩領と幕府領が入り交じっていた「おおいた」の地で起きた村同士の争いや事件を紹介する。

(5) 各種講座 (令和8年度)

講座名	期 間 (開催日時)	定員	内 容	備考
ふるさとの歴史再発見 ・前期	5月～9月 計4回	60名	戦争に関するものなど	有料
ふるさとの歴史再発見 ・後期	11月～2月 計4回	60名	「おおいたらしさ」に関わる歴史的・考古学的な研究成果について。	有料
ふるさとの歴史再発見 ・古文書基礎編	5月～9月 計4回	60名	古文書の読み方講座 入門編	有料
ふるさとの歴史再発見 ・古文書応用編	10月～2月 計4回	60名	古文書の読み方講座 応用編	有料
ふれあい歴史体験講座 (親子と一般)	原則毎月土曜日 午前9時30分～と 午後2時～の2回	30～ 50名	勾玉作り/土笛作り/埴輪作り/土偶作り/土の鈴作り/織物作り//土面作り/籐芯かご作り/土器作り/火起こし明るさ体験 など	有料
夏休みジュニア歴史探検 (小4～中学生)	8月8日(土) 午前9時30分～ 午後3時30分	20名	小中学生を対象に、館内外をめぐる歴史探検などの活動を実施する	有料
展示解説講座	開催期間中頃の日曜日 午後2時～	各30名	展示品を解説し、会場を案内する テーマ展ごとに各1回開催	無料

(6) 利用案内

開館時間 午前9時～午後5時

(入館は午後4時30分まで)

文化財

休 館 日 毎週月曜日(祝日の場合は開館)
ただし、毎月第1月曜日は開館し、翌火曜日が休館(祝日の場合は開館)
祝日の翌日(土・日曜の場合は開館)
年 末 年 始 (12月28日～1月4日)

観 覧 料 一 般 310 円 (団体 240 円)
高校生等 150 円 (団体 120 円)
中学生以下 無 料
※団体は 20 名以上
※特別展開催中は別料金になることがある

講 座 室 第1講座室 1時間 330 円
第2講座室 1時間 230 円
※一室として利用することも可

交通機関
J R 久大本線 豊後国分駅下車
徒歩 2 分

(7) 利用状況

① 利用者数

年 度	入 館 者		講座室等利用者		合 計
	大 人	小中高生	大 人	小中高生	
令 3	8,801	4,627	10,006	5,419	28,853
令 4	5,455	5,458	8,040	7,398	26,351
令 5	6,426	6,068	10,962	8,762	32,218
令 6	7,667	6,332	10,900	7,845	32,744
令 7	7,852	6,393	10,992	7,423	32,660

② 利用状況 (令和7年度)

区 分	観 覧 者		講座室利用者		移動 講座	合 計
	個 人	団 体	一 般	講座・体験		
大 人	6,246	1,606	9,099	1,561	332	18,844
中高生	200	139	1,770	5,191	462	13,816
小学生	764	5,290				
合 計	7,210	7,035	10,869	6,752	794	32,660

③ 各種講座参加者数 (令和7年度)

講 座 名		延回数	参加者数
ふるさとの歴史再 発見講座	前期コース	4 回	130 人
	後期コース	4 回	117 人
	古文書入門編	5 回	175 人
	古文書応用編	3 回	61 人
ふれあい歴史体験講座		19 回	1,093 人
ジュニア歴史探検		1 回	12 人
展示解説講座		3 回	35 人
合 計		39 回	1,623 人

文化財

④ 企画展入館者数（令和7年度）

名 称	期 間	入館者数
令和7年春季テーマ展示 『オオイタ・モダン』	4月1日（月）～5月25日（日） （開館日数 47日間）	2,144人
令和7年夏季展示 『大分の戦争と平和』	7月19日（土）～9月28日（月） （開館日数 61日間）	3,667人
令和7年度特別展『生誕500年記念 ルイス・デ・アルメイダ』	10月25日（土）～12月7日（日） （開館日数 38日間）	3,740人
令和8年春季テーマ展示『大分の学校』	3月7日（土）～3月31日（火） （開館日数 21日間）	712人

(8) 調査研究（令和7年度）

① 令和7年度夏季展示調査

令和7年夏季展示「大分の戦争と平和」の資料調査として、旧荷揚町小学校学校日誌の調査を行った。

② 令和8年春季テーマ展示調査

令和8年春季展示「大分の学校」の資料調査として大分県立図書館所蔵資料及び市内各地に残る「筆子塚」ほかの調査を行った。

③ 市内、県内の考古・歴史・民俗資料調査

資料館に寄せられる情報をもとに、資料の収集と記録保存を目的とした調査を随時行った。

(9) 資料収集（令和7年度）

展示・保存・研究のため、寄贈・寄託・購入等の方法で、資料の収集につとめている。令和7年度の主な収集資料は以下のとおりである。

① 購入資料（令和7年度）

大分郡賀来尋常高等小学校卒業記念写真帖
大分県管内地誌略上下2冊揃 管内全図付
大分県大分郡鶴崎町々は
大分県写真帖
大分県立大分高等女学校写真帖 第17回卒業生
佐賀関名勝（絵葉書）
大分市高崎山世界鳥獣館フォーナーランド
大分市復興計画図9cm×13cm
大分貯蓄銀行 二十三銀行（絵葉書）
大分県小学生徒心得 大分県小学罰則 明治11年
豊後佐賀関秋ノ江ヨリ薦嶋ヲ望ム（絵葉書）

(10) 刊行物（令和7年度）

① 資料館ニュース 特別号、NO.134

② 令和8年度 大分市歴史資料館総合案内